

事業概要【コミュニケーション支援ツール導入事業】

自治体名	群馬県伊勢崎市	人口	211,537人	事業費	15,668千円
事業概要	本市は人口のうち17,320人（8.2%）が外国人であり、日本人が減少する一方で外国人は増加傾向にある。外国人の増加や多国籍（言語）化に伴い、言語や文化の違いにより生じる課題が顕在化しており、情報格差やコミュニティの分断がより進むことが懸念される。本事業はコミュニケーション支援ツールの導入により言語の壁を解消し、国籍や言語により分け隔てられることなく安心して暮らせる、持続可能な共生都市の実現を目指すものである。				
具体サービス	【ハイブリッド多言語通訳サービス】 ・機械翻訳、人的通訳の両方が可能なハイブリッド多言語通訳サービスを搭載したタブレット端末20台を行政手続窓口に配備 ・相談業務が多い窓口にはオプションの透明ディスプレイ5台を配備 ・導入により32言語の通訳対応が可能 ・通訳の待ち時間短縮により市民サービスが向上 ・各窓口で母語による案内をし易くすることにより、外国人の制度や行政サービスへの理解度向上を狙う 【ハンディ型AI翻訳機】 ・地域における通訳支援として、レンタル用のハンディ型翻訳機を3支所・15公民館に1台ずつ配備 ・主に行政区における地域活動での活用を目的とし、空き時間には公民館講座等での活用も想定		【ハイブリッド多言語通訳サービス】 外国人 職員 【ハンディ型AI翻訳機】 各行政区の区長 環境指導員等 外国人		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①ハイブリッド多言語通訳サービス利用（通訳対応）件数 ②ハンディ型翻訳機サービス利用（貸出対応）件数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①ハイブリッド多言語通訳サービス利用満足度（5段階評価） ②ハンディ型翻訳機サービス利用満足度（5段階評価）		

事業概要【上水道管路情報閲覧システム導入事業】

自治体名	群馬県伊勢崎市	人口	211,537人	事業費	2,805千円
事業概要	本市の上水道整備課窓口訪問者は年間7,000件程度あり、台帳図の交付・閲覧は現在直接来庁する必要があり、利用者にとって負担となっています。そこで、将来的に水道工事申込等を事前調査から申込まで自宅等のPCから来庁せずに行うことを目標に、その第一段階として公開型GISを導入し、管路情報の確認にかかるオンラインサービスの整備を行います。管路情報のオンライン公開により「行かない窓口」の実現を目指します。				
具体サービス	【公開型GISサービス】 - 上水道管路情報をオンライン公開し、水道業者、不動産業者等が来庁する機会を低減する。 - オンライン公開により、閲覧時間の制約を無くすことで行政サービス及び利便性の向上が図れ、業者等に裨益する。 - ID・パスワードによるアクセス制御機能を有し、上水道管路情報を安全に提供する。 簡単な操作で誰でも行政情報の確認が可能！ いつでも・どこでも最適な環境で利用可能！ 地図の利用に係る機能を使い、業務で利活用！ 住所・地番検索やレイヤの切り替えが可能 印刷や作図等の各種機能を集約 地図表示の切り替え可能 公開型GIS				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①公開型GISのアクセス件数（件） ② 【アウトカム指標（成果指標）】 ①公開した上水道管路情報の利用満足度（5段階評価） ②				